

学習の見通しをもち、学習方法を選択し取り組む家庭学習



OODA とは「ウーダ」と読み、Observe(観察)、Orient(状況判断)、Decide(意思決定)、Action(行動)の頭文字を取った、意思決定と実行の流れを表すフレームワークです。この4つのプロセスを用いることで、迅速で正確な意思決定を行うことが可能です。



「やらされる学習」

「自分でする学習」

自分が得意なことを伸ばし、苦手なことを克服するためには、自ら学習計画を立てていくことが必要です。

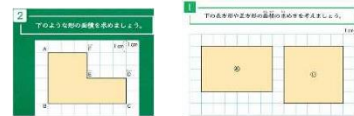
そのためには、普通の授業の中での疑問や気づきがとても大切になります。

自らの目標を達成するために、どのような学習を行っているのか具体的に決めましょう！



課題の進み具合、テストの目標、苦手な学習は何かなど、自分の置かれている状況等を整理します。

学習内容



面積の求め方を文で書くのが苦手だったな

単元テスト



授業のふり振り返りノート



授業で取り組んだ学習プリント



1学期にたくさんの勉強をしてきたけど、〇〇が苦手だから、できるようになりたいな。

苦手な〇〇を間違えないように、ドリルパークや問題集を中心に毎日くり返しやっていこう！



現状を観察して、目標のためにはどう進めていくべきか、その都度最適な計画を立てます。

今日勉強したことを忘れないように、明日はどんな学習をしようかな。

難しい問題にチャレンジすることは楽しいな。自分で問題を作ってみようかな。

OODA
ループ



必要な勉強や学習時間、締め切りまでの余力などを明らかにし、目標を達成するための仮説を立てます。

複雑な形の面積に挑戦したいから、ドリルパークでいろいろな問題を解いてみたいけど、教科書の問題にもチャレンジしてみようかな。

計算ミスがなくなるようにかけ算とわり算の練習をしないといけないな。



目標を達成するために、どのような学習を行っているのか具体的に決めていきます。

ドリルパークを毎日少しずつ進めていくぞ！難しい問題から進めていくぞ！

前にやったことのある計算ドリルの問題をもう一度やってみよう！



今まで習った学習の復習や予習を行う。
・自分で苦手な問題や定着させたい問題を選択する。
・繰り返し練習をする。

四日市市が活用できる教材例



・ワークシートの解説動画
・学習してきたことを使って、難しい問題に挑戦する。
・自分で苦手な問題や定着させたい問題を選択する。



・社会などの調べ学習
・スピーチを練習するために、中学生の動画視聴
・キーボード練習
・プログラミング学習 など



・学校の宿題で行ったものを繰り返し練習する。
・ノートに漢字や計算を繰り返し行う。